

対象国の条件 : 全世界

研修コース番号 : 201984747-J002

案件番号 : 201984747

主分野課題 : 自然環境保全/その他自然環境保全

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

開発途上国における森林減少・劣化等からの温室効果ガス排出削減 (REDD+) を推進するため、国際的な枠組みと要件を踏まえて、自国の状況に基づく政策立案・同実施を担うことが出来る人材を育成する。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 REDD+に関連する幹部職員が、自国の状況に応じたREDD+実施促進のための方策を理解し、必要な外部資金を調達・活用し、効果的に実施促進する能力を獲得する。</p> <p>【成果】 (1) REDD+実施に求められる政策的・制度的・技術的な要件を体系的に理解し、自国が今後整備すべき事項を把握できる。 (2) 自国の森林や社会の状況、REDD+実施上の留意事項を踏まえたうえで、自国におけるREDD+の効果的なアプローチを検討できる。 (3) REDD+の成果払いのための資金動員メカニズム (国際的基金 (GCF、FCPF 等)、二国間オフセット・クレジット制度、自主的市場 等) の特徴および手順等を理解する。 (4) 自国の状況に基づいた当該国のREDD+準備・実施のための向こう5年間のアクションプラン (RAP) を提案することができる。</p>	<p>【対象組織】 REDD+における政策策定に関わる中央政府</p> <p>【対象人材】 現在もしくは将来、REDD+の政策立案、制度整備、及び施策実施に携わる中央政府行政幹部職員</p>

内 容	本邦研修期間	2019/5～2019/6
<p>1. 事前活動 カントリーレポートの作成 (約束草案 (INDC)、温室効果ガス(GHG)インベントリー、自国の森林状況、REDD+に関する国家政策・戦略、REDD+実施体制・予算、REDD+進捗状況 (国家森林モニタリングシステム、セーフガード、FREL) 及び資金源・他ドナーの支援状況、REDD+に係る今後の計画等の情報含む)</p> <p>2. 本邦研修 (1) REDD+進捗に係る各国状況の共有 (2) 講義：バリ協定など近年の気候変動枠組条約やその他REDD+に関する動向、留意事項 (3) 講義：REDD+実施のための要件 (MRV、SG) (4) 講義：主な資金メカニズム (GCF、FCPF、二国間オフセット・クレジット、JCM等) (5) ワークショップ：自国の分析とREDD+取組のポイントの解説 (6) ワークショップ：RAP作成および発表、講評 (7) 視察：国有管理の現場視察</p> <p>※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創 (Knowledge Co-creation)」の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。</p>	<p>担当課題部</p>	<p>地球環境部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA東京 (経済環境)</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>農林水産省</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2017～2019</p>

<p>主要協力機関</p>	<p>国際緑化推進センター</p>
<p>特記事項 及び ホームページ</p>	